

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自の運営理念として明文化し常に携帯している	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月2回、運営会議を開催し各ユニットの状況を把握しつつ施設側の意向や介護に対する理念の確認、グループ内会議や勉強会を実施している	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進会議を行い市町村職員、地域の民生委員、利用者家族の参加にて理念について説明し、理解して頂ける様、呼びかけている	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方とお散歩をしたり公園で遊んでいる(犬と話す様にしており、近隣の方や見学者など自由に出入りできる。空回気作りも行っている。又利用者の日課となっている散歩では近隣の方から声をかけ下さる機会も増えている	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のホラテの方と定期的に交流を行いホムの役割を理解してもらえるよう呼びかけ、地域の夏祭りや運動会等にも参加している。又当施設の納涼祭等にも参加して頂いている	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の集まりには声をかけて頂き、積極的に参加し交流を深めている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価 外部評価を実施する意義をスタッフ全員に説明し、利用者へのサービスにつなげるべく様子にしている。改善する点はスタッフ間で検討し随時見守りしている		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、運営推進会議を行い、施設の入居者の状況、活動状況等を報告し、参加者からの意見を活かし、見直しや改善した点を報告している		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	同敷地内に本部があり、本部のスタッフが市町村に定期的に訪問し、相談や助言等を仰いでおり、施設の発展に貢献して頂いている		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	介護相談員の訪問をお願いしたり、市町村の担当職員にその都度相談している		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者やスタッフは虐待防止の徹底を図る為勉強会を実施している。又自宅での虐待の有無、を利用者の訴えや身体状況の観察を行っている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約の際、運営規定や重要事項説明書をわかりやすく説明し随時、質問や疑問点に答へ、不安の解消に努めている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が意見、不満、苦情を訴える事ができる環境づくりを心がけていると共に苦情等が出た場合、管理者や職員はミーティングや申し送りシートを通じて共有し、改善していくように心がけている	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	行事の様子を写真に撮りホールに掲示したり、耳かき旅行のわくわく新聞を家族等に送っている。又健康面での変化があった場合等早急に報告している	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等が意見、不満、苦情を訴える機会をつくらせているとともにその意見を運営に活かしている	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的にカンファレンスを開き、スタッフの意見や提案を聞く様にし、運営に活かしている。又、管理者は職員が話しやすい環境づくりに努め、常に声かけを行っている	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者が急変時等、スタッフ確保がスムーズにできる様にある為、連絡網を作成している	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフの異動、離職は最小限に抑え、又 やむを得ず必要な場合は新しいスタッフも 同じ様なケアが出来る事を利用者に対し に伝え、利用者の心理的ケアに努めて いる		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて 育成するための計画をたて、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	スタッフの段階に応じた研修に参加させ ている、又内部の研修も実施している 各業務終了後にヒアリングに関する意見交 換も行っている		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者 と交流する機会を持ち、ネットワークづく りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、 サービスの質を向上させていく取り組みを している	3ヶ月に1回、地域の同業者との交流あ る場を設けている。その際、勉強会等 を行い意見交換をしサービスの質を向上 させていく取り組みを行っている		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽 減するための工夫や環境づくりに取り組ん でいる	個々に悩みやストレスの解消できるよ うに相談や助言を行っている。又懇親会 等を設け話し合いができる機会をつ けている		
22 ○向上心を持って働き続けるための取組 み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、各自が向上心 を持って働けるように努めている	スタッフの積極性を高める為にスタッフの 努力や実績を把握し、認め、声かけするよ うにしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から利用に至るまで、利用者及び家族等が可能な限り面接を行い不安な事や求めている事などを把握し、受け止める努力をしている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	管理者や職員は家族等とのコミュニケーションを大切にし、事前に家族と話す機会を設ける為に自宅に伺い、利用者の生活状況を聴き取っている	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者は施設ケアマネジャーと連携を図り、利用者と家族にとって最良のサービスを提供できる様に相談や援助を随時行っている	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービスの内容について開始する前にケアプランを通し家族等や職員に説明している。又追加や修正等の際にも同様の説明をしている	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活における家事手伝いや火の作り等、共に行動する場を設け、傾聴し、尊敬の気持ちを忘れぬ様に対応している	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日常の変化も家族にその都度連絡を取り、伝え、面会時には必ず家族の方に話しかけるように心がけている		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族との関係は双方の語をもとに基本情報の白帳として記録をし、それをもとにお互いが思われるような日々の情報を提供するように心がけている		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所しても自宅で生活していけるという意識を持ってもらえる様に手紙のやり取りやいつでも電話でできる状況であり、馴染みの人との面会はいつでもできる様にしている		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者の橋渡しになれるように職員が機能し、利用者の性格に合わせて席替えをしたり話題を提供するなど環境作りに努めている		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も面会に行ったり家族の相談等も受ける体制を整えている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 入居者の意向を聞き、選択してもらい できるだけ実現できる様努力している	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 入居者の生活歴や経験などを日々の生活に 豊富にさせている 施設独自の基本情報票の活用、看護サマリー 等を個別のファイルで整理している	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 毎日の生活の様子を観察し、個別のケース 記録、介護日記に日々の生活の様子 等を週別変化等記録している 申し送りシート等に要約し、ミニカンファレンス を行っている	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 毎日の様子観察を行い、問題点については 職員同士、話し合ったり利用者へ話を 聞きながら対応策の検討を行いケアプラン を作成している。必要な場合、家族に相談 している	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 各自に見合ったケアプランを作成し 実行している。7個々の状況により随時 見直し計画や新たな計画を作成して いる	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	温度版の下にケアプランの実行状況、改善点の記入欄を設け職員全員が現状に即して計画の見直しや新たな計画を作成している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接の本部スタッフや看護師等の協力を得ながら状況に応じ時間の制限なく対応できるなど柔軟な支援をしている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	警察・消防への協力の依頼をし理解が得られている。ボランティア活動では歌やダンスを行ってもらっている		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	在宅に居られる利用者に対して地域包括支援センターや民生委員の方と話し合いの場を設け、ご自身に合った適切な支援が受けられる様に対応している		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	常に役場との連絡を密にし相談助言等を受ける様にしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隣接施設に相談できる看護師が常駐しているので緊急時にはいつでも対応できる(体制が整っている)。又利用者がかかりつけ病院へ継続して通院 提携病院も利用している		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	高齢者である事を踏まえた診察や治療を指示、助言してもらっている。又症状については精神科専門医での受診を行っている		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	隣接する施設の看護師の協力を得て日常の健康管理を行っている毎朝看護師へ利用者の状況を申し送り、相談や適切な指示をもらっている		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中状況の把握に努め、早期退院の為の話し合いや協力を得ている		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	隣接する施設の看護師より専門的な知識や助言を受け家族の意向を尊重し、よく話し合い、かかりつけ医と相談しながら方針を決めている		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者の状況に応じて事業所として適切に判断し、医療機関との連携をとっている。又家族とも十分に話し合いをしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	利用者にとって最善の方法を関係者や家族、本人と十分に話し合い、退所後もかかりを持つ事でダメージ防止に努めている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	利用者一人ひとりの人格を尊重し本人の思っている現実を否定する事なく会話する事を心がけている		
51	本人が理解できる言葉を用いる様にしたり身振り、目線等を使用し、本人の希望や意見を充分に取り入れている		
52	入居者のペースを尊重した対応や入居者主体のその人らしさを重視したケアができる様に心がけている		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	季節、外出、日常など時々に応じたおしゃべりができる様支援している。又月1回の移動美容室を希望により利用している		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	Xニューの中に好みの物を取り入れるなど工夫し食事の時に利用者の希望を把握できるように努め、食事の準備や片付けは利用者間で役割りが出来ており職員と協力し合いながら行っている		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物・おやつ等、利用者の意向を取り入れている		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者一人ひとりの排泄 状況 状況に応じてトイレ誘導している 自立に向けた支援を行い昼間はなるべくオムリを使用しない生活に取り組んでいる		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日声をかけ、本人の希望を聞き、入浴している。拒否の方も一度の声かけではなく時間を考えて声かけしている		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中は散歩やカウオケ等行い活動的に生活をしてみらい、夜にゆっくり休んでもらえる様心がけている。又、利用者が安心して自由に過ごせる様心がけている		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々が楽しみにしている園芸や食事作り、洗たく物たたき等の場面作りなどを支援している		


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者の金銭管理は家族と取り決め た方法で行い出納を報告している		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	地域の行事の参加や花見など利用者 の方々の行きたい場所へできるだけ行 ける様計画(○)実施している		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者の状況に合わせて外出や 他ユニットの方々の交流を促した外 出を行っている		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族と取り決められた方法で行い、又利用 する際、必要に応じて見守り、介助を行 っている。手紙の代筆やいつでも電話を利用 できる状況である		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族や馴染みの人達がいつでも気軽 に来所しやすい環境作りをしている		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	生命の危険がない限り身体拘束 を行わないようにしている、又現在 身体拘束を行っていない		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者 等 に対し常に目配り声をかけ合っており、鍵をかけない。但し居室の窓の開閉については制限している。又階段は転落の危険がある為ご家族の方へ了承を得て柵をしている		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の様子と行動を把握して見守りをしている		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品は決められた場所へ保管し管理する様にしている		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急時対応マニュアルを素早く対応できるように様々勉強会をしている。又他施設同僚についても検討し話し合っている		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の対応マニュアルを作成し救急救命法の 復習 講義や具体的な演技を伴う研修への参加をしている		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、消防署の協力を得て避難訓練を実施している		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	利用者の状況に応じて家族等への説明 はその都度行っている職員同士の間で情報 を共有し常に対処策を話し合っている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気付いた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	毎日の健康チェックはかかさず行い、職員間 の情報共有を図り管理者と話し合っ て速やかに対応できる体制を整えている。又隣接す る施設の看護師に報告、相談し対応して いる		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量について理解し ており、服薬の支援と症状の変化の確認に 努めている	処方せんファイルを作成し、服薬介助の際 日付、名前等の確認をし、誤薬等の 事故防止に細心の注意をしている		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、予防と対応のための飲食物の工夫や身 体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食物繊維を多く取り入れるたり飲水を すため、又散歩等軽運動などで排便でき る様に心がけているが自力で排便困難 の際薬のコントロール、腹部マッサージしている		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた 支援をしている	食後歯みがき、義歯の洗浄を行い 口腔ケアの必要性と声かけを徹底 している		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事水分摂取量を チェック把握している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザ予防接種実施し、感染症マニュアルは代表者が講習を受け他の職員に伝達している		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防の注意事項を食堂や台所に提示したり細菌のつきやすい調理用具の10分-消毒、職員や利用者の手指消毒を徹底している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関手前には花を植えたり四季折々の飾りつけをある事により入り易い雰囲気作りをしている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホール等は季節ごとの行事の写真を貼ったりフロンター等で花を育て心地良く過ごせる様心がけている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールに畳を敷いたり、リファ-を置くなど入居者が自由に過ごせるようにしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内のレイアウト等は本人の意思決定のもとで行っている。入居の際は各自慣れた家具等の持ち込み可能である事を説明し持ってきてもらえる様にしている		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	随時窓を開閉し常に換気に気を付け、温度も適切に調整している		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ユニット内の手まりの設置、浴槽内に滑り止めマット等、利用者に合わせて使用している		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室の表札やトイレ、お風呂の表示を配慮している 常に見守り、働きかけに注意している		
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑作りをし、野菜の収穫をしている バルコニーには花を育て、天気の良い日は流石く物が干せる様物干し場を設けている		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・季節ごとの行事をしたり、ボランティアの方を呼び、音楽や踊りを利用者の方にもしてもらっている
- ・利用者と一緒に畑で野菜作りをし、収穫した際、皆で食べている
- ・夜勤を3人1体制で行っている
- ・希望者には、公文学習療法を取り入れ、認知症の進行防止に努めている